

注5：市町村が現物給付方式で助成する場合、国民健康保険の国庫負担金が減額される仕組み

 **福祉・医療・保健**

**免許証を自主返納した  
高齢者への特典の提供**



岩永 慎太郎 議員

高齢者ドライバーの免許証の自主返納を促すため、運転免許証更新の際に、認知機能検査などが義務付けられている。自主返納により不便を強いられる方への対策として、他市では、タクシー代の半額を補助する「マイタク利用券」などの特典がある。大村市においても、市独自の特典の提供を考えられないか尋ねる。

**答**

国は、平成29年6月に有識者から高齢運転者交通事故防止対策に関する提言を受け、今後、一定の方針を示すと思われる。市としては、この方針を踏まえつつ、公共交通網に関する考え方を整理し、他市の先進事例を参考にして、県内各市の担当課による交通安全対策連絡協議会や庁内での協議を行い、取り組みを検討したい。



 **福祉・医療・保健**

**子ども医療費助成制度  
への現物給付の導入**



小林 史政 議員

本市では平成31年1月から、子ども医療費助成制度の改正により、未就学児対象の現物給付と小中学生対象の委任払いの2つの制度が混在することになる。窓口で医療費を支払う保護者や事務手続きを行う医療機関において、混乱が生じることが懸念されるが、今後、小学生も現物給付の対象にする考えはあるのか。また、国のペナルティが廃止となれば、小学生を現物給付にする考えはあるのか。

**答**

小学生までの医療費の現物給付制度の導入については、断念しておらず、協議・検討を重ねていかなければならないと考えている。また、国のペナルティが廃止されれば、小学生は現物給付とする。



 **産業・経済・労働**

**JR岩松駅に快速列車の  
停車を要望**



廣瀬 政和 議員

JR九州の3月ダイヤ改正により、竹松・諫早間の運行本数が66便となる。うち、29便が快速列車であり、岩松駅には停車しない。岩松駅近辺には、長崎医療センターや活水女子大学看護学部等があり、大規模な福祉施設も建設中である。今後JR利用者の増加が見込まれるため、岩松駅への快速列車の停車を要望できないか。

**答**

今後、新幹線の整備、開業にあわせ、市内に新たに整備される新駅の利用状況や全体的な利用状況を踏まえ、研究していきたい。



 **産業・経済・労働**

**サッカー観戦客の  
大村への宿泊・観光誘客へ**



水上 享 議員

V・ファーレン長崎が、J1リーグへ昇格した。県立総合運動公園での全20試合の県外からの来場客は、1試合当たり3～4千人と予想される。すでに航空便も満席で、諫早市内のホテルも満室の状態である。雲仙市では、宿泊費を補助する予算を計上している。大村市を素通りのまちとしてはならない。農家民泊を含め、宿泊・観光へ誘客する施策が遅いのではないか。

**答**

V・ファーレン長崎を活用した観光誘客については、今後、受け入れ側のホテル・旅館組合やコンベンション協会との協議を行う。また、空港を利用した物産展や、飲食店にアウェイチームの旗を掲示し誘客するなど、県と県下市町で一丸となって進める必要があると考えている。また、農家民泊については、グリーンツーリズム推進協議会と協議していきたい。